

## 子どもに伝える学習の意味

### - 知識活用法を学ぶ -

6月3日(土)に「現代的学校教育の課題解決シリーズ 2017」の学び合う仲間による教員研修リレー講座の第3回が行われました。今回は、金沢学院大学准教授の小林淳一先生(学校教育学)による、「子どもに伝える学習の意味-知識活用法を学ぶ-」と題して、認知・記憶の知見に基づく学習導入、学習(知の獲得)の意味、既有知識に基づく発想と予測、知的感動の基礎条件、ディープ・ラーニング(深層学習)について、具体的事例を取り上げた支援方法に関する学び合いが展開され、充実した研修になりました。



#### <参加者の感想から>

- 学習に関するさまざまな研究知見があることを知るとともに、それらを学習場面に活用することで、効果的に学習活動を進めていくことができることがわかりました。具体的例をあげての講義だったので、とてもわかりやすく、普段の学習指導をふりかえる機会になりました。
- 知に対する教師のあり方、とらえ方の視点について、深く考えていかなければならないと思いました。明日から、「はっきり、わかりやすく、間を大切にする」から始めたいと思います。
- 工夫した内容で提示してくださったので楽しく学ぶことができました。また、研修会がゼミ形式のような雰囲気学び会えるのがとてもよいと感じました。
- 具体的にわかりやすい説明をしていただき、次々と日々の具体的な課題や支援が頭に浮かんできました。
- 自分や同僚と課題にしていた悩みや事例の解決につながるヒントを得ることができました。アクティブ・ラーニングとともに、さらに発展したディープ・ラーニングの可能性について取り上げて頂き、勉強になりました。